

2025年度 ニチキッズ北上さくら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月16日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月6日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、園活動での経験を通して子どもが楽しめる活動内容を考えた。子どもの考える力を育み、一人一人に寄り添った丁寧な保育を行った。
子どもの発達援助	個々の子どもの姿や発達状況を日々のミーティングで共有し、子どもの実情を把握したうえで一人一人に合わせた必要な援助を行った。子どもたちが意欲的に楽しんで活動に参加できる環境づくりに努め、発達に合わせた手作り教材を用意し、成長を促した。
保護者に対する支援	ホームページや動画配信により保育の日常を保護者に発信し、園の取り組みを周知できた。保護者の子育てに関する不安な気持ちに寄り添い、家庭の状況を聞き取って園の様子を伝えるなど子どもの成長を共有し共に喜び合いながら信頼関係の構築に努めた。
保育を支える組織的基盤	会議や研修を通してマニュアルの読み合わせや手順書の見直しを行い、子どもたちが安心安全に過ごせる環境作りに努めた。全職員で小さな事でも共有し合い、職員が共通の認識を持って業務を遂行できた。

総評
園全体で一人一人に合わせた丁寧な保育を心がけ、保育者との信頼関係のもと心と体の成長へと繋げられるよう取り組めた。クラス毎の活動が充実したうえで、異年齢での活動を取り入れ、安心で安全な環境の中で友達とのやりとりを通して良い成長が見られた。次年度に向けては、社内研修だけでなく外部研修にも積極的に参加し専門的知識を高め、日々の保育に生かせるよう自己研鑽に努めていく。また、保育の質の向上に園全体で取り組み、子どもも保護者も安心して通える保育園を目指していきたい。